

平成13年度厚生労働省エイズ対策研究事業
エイズ予防と若者の保健行動に関する調査

主任研究者

池上千寿子（特定非営利活動法人ぶれいす東京 代表）

分担研究者

徐 淑子（日本保健行動医療科学奨励研究員）

東 優子（ノートルダム清心女子大学 助教授）

研究協力者

村瀬幸浩（一橋大学 講師）

(回答にあたって)

このたびは私どもの調査に参加ご協力いただき誠にありがとうございます。
アンケートにお答えいただくに当たり、みなさまにお知らせしたいことがいくつかございます。

この調査は無記名で行われます。
アンケート用紙には、あなたのお名前、ご住所・電話番号などは、絶対に記入しないでください。
質問、お問い合わせ、調査結果送付希望などのご要望がある方は、お手数ですが、
別紙「エイズ予防と若者の保健行動についての調査ご協力のお願い」に記された問い合わせ先に
直接ご連絡くださるようお願い申し上げます。

このアンケートの中には、あなたにとって答えにくい質問が含まれるかもしれません。
ご自身の経験からは答えづらい質問も含まれると思いますが、あまり深く考え込まず、
直観的にお答え下さい。

また、調査そのものへの参加をとりやめることもできます。
調査への参加を希望されない場合には、白紙のまま、回収用封筒に封入して係員に提出して下さい。

みなさまからお寄せいただいた回答は統計的に処理され、態度・行動特性の集団レベルでの把握に
使用されます。

お答えを個人情報として利用することは絶対にございません。

また、個人が特定できる形で結果が公表されることもございません。

プライバシーの漏洩等が起こらないよう、アンケート用紙の保管にも万全の対処を行います。

最後に、このアンケートは、選択肢を選んでお答えいただく形式の複数の質問項目により
構成されています。

これらの質問には、試験問題のような正しい解答というものは存在しません。

どうぞ、あなたご自身のお考え・ご経験より、率直にお答えくださるようお願い申し上げます。

【記入の仕方】

例) 「HIV/AIDSはセックスで感染する可能性がある」の意見が、あなたの考えと「あてはまる」場合

	全くあてはまら ない	あてはまら ない	どちらとも いえない	当てはまる	よく当て はまる
例 ○ HIV/AIDSはセックスで感染する可能性がある	1	2	3	4	5

では、ページを開いて下さい。
問1よりアンケートが始まります。

問1 下に、コンドームについてのさまざまな意見が挙げられています。これらの意見は、あなたご自身のお考えとどの程度、一致しますか。
「全く当てはまらない」から「よく当てはまる」までの5段階で、お答えください。

	全く当てはまらない	あてはまらない	どちらともいえない	当てはまる	よく当てはまる
1 ● コンドームは、自分で買う	1	2	3	4	5
2 ● コンドームは、自分にとって身近なものではない	1	2	3	4	5
3 ● いつも、コンドームを持ち歩くようにしている	1	2	3	4	5
4 ● コンドームへの苦手意識がある	1	2	3	4	5
5 ● コンドームについての話題は、相手とのコミュニケーションとなることがある	1	2	3	4	5
6 ● コンドームの正しい装着の仕方がわからない	1	2	3	4	5
7 ● 自分はコンドームをつけたくなくても、相手がつけることを希望すれば使用する	1	2	3	4	5
8 ● 計画外の妊娠をすることは、人生に大きな影響を及ぼす	1	2	3	4	5
9 ● セックスの流れを止めないためにも、コンドームはあらかじめ用意しておく	1	2	3	4	5
10 ● 相手に妊娠を心配しているかどうかは、預けのようなものだと思う	1	2	3	4	5
11 ● 勢いで始めたセックスでも、コンドームを使う	1	2	3	4	5
12 ● 相手への感情・関係の違いによってコンドームを使うかどうかは異なる	1	2	3	4	5
13 ● コンドームをうまく装着できない	1	2	3	4	5
14 ● 相手がコンドームなしのセックスでもよいといえば、使わない	1	2	3	4	5
15 ● 愛があれば、予定外の妊娠でもかまわない	1	2	3	4	5
16 ● 身近な人が妊娠に悩んだら、両親についてもっと深刻に考えるだろう	1	2	3	4	5
17 ● コンドームを使うことは、セックスのときの楽しみとなることもある	1	2	3	4	5
18 ● 先のことを考えずに、コンドームを使わないことがある	1	2	3	4	5
19 ● 初めてのセックスでは、コンドームの使い方がわからない	1	2	3	4	5
20 ● 習慣していると、うまくコンドームを装着できない	1	2	3	4	5
21 ● コンドームを用意しておくことは、相手にプレッシャーを与えてしまうと思う	1	2	3	4	5
22 ● コンドームを持ち合わせていないときは、買ってきてからセックスをする	1	2	3	4	5
23 ● 女性がコンドームを持っていると、女性の過去の経験を想像してしまい、憂鬱になる	1	2	3	4	5
24 ● 快感を減らすので、コンドームは使わない	1	2	3	4	5
25 ● セックスの途中でコンドームをつけるタイミングが難しい	1	2	3	4	5
26 ● コンドームのパッケージを見たり、説明文を読むのは、楽しい	1	2	3	4	5
27 ● コンドームがないときは、セックスを中断する	1	2	3	4	5
28 ● コンドームは買にくい	1	2	3	4	5
29 ● コンドームを持ち歩いている女性とは、付き合いたくない	1	2	3	4	5
30 ● お互い愛が湧いているなら、コンドームなしのセックスをしてもいい	1	2	3	4	5

(次ページに続く)

(前ページより続く)

	全くあてはま らない	あてはまら ない	どちらとも いえない	当てはまる	よく当て はまる
31 ● コンドームが手元になければ、使わなくてもかまわないと思う	1	2	3	4	5
32 ● 安全日でもコンドームを装着する時間を忘れてしまう	1	2	3	4	5
33 ● セックスに夢中になっている時には、コンドームを着け忘れることもある	1	2	3	4	5
34 ● コンドームがゴム製か無料であれば、使うだろう	1	2	3	4	5
35 ● 普段はコンドームを使っても、「安全日」には使わない	1	2	3	4	5
36 ● コンドームを用意しておくど、相手に、下心があると思われそうで嫌だ	1	2	3	4	5
37 ● 女性がコンドームを買うことに、抵抗がある	1	2	3	4	5
38 ● ベースが十分に固くならず、コンドームを破損しやすい	1	2	3	4	5
39 ● 計画外の妊娠や病気の感染は、自分にとっては身近な問題ではない	1	2	3	4	5
40 ● 自分の体のリスクを知っていることは、大切なことだと思っている	1	2	3	4	5
41 ● なんとなく、自分は病気に感染することはないだろうと思っている	1	2	3	4	5
42 ● コンドームのイメージは悪い	1	2	3	4	5
43 ● セックスの途中でコンドームをつける時間は、ばつが悪い気がする	1	2	3	4	5
44 ● セックスの時以外にも、セックスやコンドームについて相手と話し合う	1	2	3	4	5
45 ● セックスがある予感がしたら、コンドームを用意しておく	1	2	3	4	5
46 ● 女性がコンドームを持っていると、その人への関心が下がる	1	2	3	4	5
47 ● お酒で酔っ払ってしまった時に、コンドームを使うことなど考えないことがある	1	2	3	4	5
48 ● 相手には、自分がコンドームを用意していることを知られたくない	1	2	3	4	5
49 ● コンドームを使わないことで相手との一体感が増すと思う	1	2	3	4	5
50 ● 一回くらいコンドームをつけなかったからといって、何ら問題はない	1	2	3	4	5
51 ● コンドームを使うのは、面倒くさい	1	2	3	4	5
52 ● コンドームを持ち合わせていないときは、使わずにセックスをする	1	2	3	4	5
53 ● セックスをしているときは夢中で、コンドームのことは考えられない	1	2	3	4	5
54 ● フェラチオの際は、コンドームをつけない	1	2	3	4	5
55 ● セックスをするときはいつでもコンドームをつけるものだと思う	1	2	3	4	5
56 ● 「相手はHIV/AIDSや性感染症にかかっていないだろう」と思うとコンドームを使わない	1	2	3	4	5
57 ● 相手が誰であっても、セックスをする時は必ずコンドームを使う	1	2	3	4	5
58 ● 性教育を受けたことが、コンドームを使用することに影響している	1	2	3	4	5
59 ● コンドームについての自分の考えを相手にきちんと伝えるのは難しい	1	2	3	4	5
60 ● お酒で酔っ払ってしまった時に、コンドームを使うことなど考えないことがある	1	2	3	4	5

(次ページに続く)

問2 セックスをもつことによって引き起こされる可能性のある身体的・心理的問題な問題にはさまざまなものがあります。下に挙げることから、あなたご自身はどの程度心配していらっしゃいますか。5段階でお答えください。

	大敵心配している	心配している	どちらともいえない	あまり心配していない	心配していない
1 ● セックスのとき、雑菌が侵入して身体が不潔になるのではということ	1	2	3	4	5
2 ● エイズがうつるのではないかとということ	1	2	3	4	5
3 ● 性感染症に感染するのではないかとということ	1	2	3	4	5
4 ● 愛さない気持ちになること	1	2	3	4	5
5 ● 避妊や性感染症予防の考え方についての意見の食い違いで、恋人との関係が悪化するのではないかとということ	1	2	3	4	5
6 ● 性的な好みなど、その意見の食い違いによって、恋人との関係が悪化するのではないかとということ	1	2	3	4	5
7 ● セックスをもつことによって、恋人との情緒的な関係が変化してしまうのではないかとということ	1	2	3	4	5
8 ● セックスによって、自分が精神的に苦しみ続けるのではないかとということ	1	2	3	4	5
9 ● セックスによって、自分が身体的な傷を受けるのではないかとということ	1	2	3	4	5
10 ● セックスの問題によって、自分の社会的名誉に傷がつくのではないかとということ	1	2	3	4	5
11 ● セックスをすることによって、今までの自分とは違う自分になってしまうのではないかとということ	1	2	3	4	5
12 ● セックスの問題によって、自分の家族や友達との関係が悪化するのではないかとということ	1	2	3	4	5

問3 下に、いくつかの文章があります。ここに述べられていることから、あなたが特別の相手（恋人、カノジョ、ステディ等）といっしょにいる時のあなたの気もちとどの程度一致しますか。5段階でお答えください。

- (注意) ・現在、相手のいない方 → 過去1年間のうち、もっとも最近の相手との関係についてお答えください
 ・現在、複数の人とつきあっている方 → もっとも親しい相手との関係についてお答えください
 ・相手をもったことのない方 → 問6にお進みください

	あてはまる	だいたいあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
1 ● 私たちは、お互い相手の気持ちに敏感にわかる	1	2	3	4	5
2 ● 私たちは、お互いの喜びをわがことのように喜び合う	1	2	3	4	5
3 ● 私たちの間では、甘えられる雰囲気がない	1	2	3	4	5
4 ● 私たちは、お互い気持ちがよく通じ合う	1	2	3	4	5
5 ● 私たちは、お互いの行動や考えを支持し合える	1	2	3	4	5
6 ● 私たちは、お互い傾いており、思うようにふるまえる	1	2	3	4	5
7 ● 私たちは、個人的な気持ちや秘密を打ち明けられる	1	2	3	4	5
8 ● 私たちは、お互い何でも話が通じあらず、いらいらしい	1	2	3	4	5
9 ● 私たちの間には、お互いの考えや将来のことを話し合える雰囲気はない	1	2	3	4	5
10 ● 私たちの間では、互いに「あややれ、こややれ」と言い合うことはありません	1	2	3	4	5
11 ● 私たちの間では、二人の間のルールのようなものはあまりありません	1	2	3	4	5
12 ● 私たちのうち誰か一人が、ほとんどのことを決めてしまいます	1	2	3	4	5
13 ● 私たちには私たちのやり方というものがあります	1	2	3	4	5
14 ● 私たちの間では決まりを守るなどが、とても大切です	1	2	3	4	5
15 ● 二人の間で何かを決めるとき、二人のどちらもが言いたいことを言えます	1	2	3	4	5
16 ● 二人の間ではお互いに自分の好きなことができます	1	2	3	4	5
17 ● 二人の間では、決まりに厳格なところがあります	1	2	3	4	5
18 ● 二人の間では、自分勝手なことは許されません	1	2	3	4	5

問4 あなたご自身の性関係についてお聞かせください。

1) あなたは、今までに性交（セックス）の経験をお持ちですか。

男性器と膣の性交（膣性交）、男性器と肛門の性交（アナル・セックス）、
男性器と口の性交（オーラル・セックス、フェラチオ、クニニリングス）のいずれかをしたことのある方は、「はい」に、それ以外の方は「いいえ」にするしをつけてください。

① はい	② いいえ
------	-------

問6にお進みください

2) 最近1年間のあなたのパートナー関係についてお知らせください。

あなたは、最近1年間につきのような人がいましたか。

① 特定の相手（恋人、カノジョ、ステディなど）

① いた ア. 現在いる イ. 現在はいない	② いない
------------------------------	-------

② 特定の相手ではないが、一定期間、性的関係をもった人（セックスフレンドなど）

① いた ア. 現在いる イ. 現在はいない	② いない
------------------------------	-------

問5 性交経験のある方にお尋ねいたします。

以下の質問に、四角の中の選択肢よりひとつ選んでお答えください。

1) 最近3ヶ月のセックスで、あなたはどのくらいの頻度でコンドームを使用しましたか。

① 全く使用しなかった	② あまり使用しなかった	③ 2回に1回程度使用した
④ だいたい使用した	⑤ 毎回使用した	⑥ 最近3ヶ月にはセックスしなかった

2) 過去1年間、あなたは、コンドームを使うべきときに使えなかったことがありましたか。

① 全くなかった	② ほとんどなかった	③ ときどきあった
④ よくあった	⑤ ほとんどそうであった	⑥ 使うべきときがなかった

3) 次にセックスをするとき、あなたはコンドームを使用すると思いますか。

① 使用しないと思う	② たぶん使用しないと思う	③ どちらともいえない
④ たぶん使用すると思う	⑤ 使用すると思う	⑥ 絶対に使用すると思う

4) 次にセックスをするとき、あなたはコンドームを自分で用意すると思いますか。

① 用意しないと思う	② たぶん用意しないと思う	③ どちらともいえない
④ たぶん用意すると思う	⑤ 用意すると思う	⑥ 必ず用意すると思う

5) 次にセックスをするとき、相手がコンドームを使おうとしなかったら、あなたご自身から、使用を提案しますか。

① 提案しないと思う	② たぶん提案しないと思う	③ どちらともいえない
④ たぶん提案すると思う	⑤ 提案すると思う	⑥ 必ず提案すると思う

6) コンドーム使用中、あるいは使用後に、かゆみ・痛みなどの症状が出たり、不快感を感ずることがありますか。

① ない	② たまにある	③ よくある	④ わからない
------	---------	--------	---------

問6 性交経験のない方にお尋ねいたします。
以下の質問に、四角の中の選択肢よりひとつ選んでお答えください。

1) 初めてのセックスをするとき、あなたはコンドームを使用すると思いますか。

- | | | |
|-------------|--------------|-------------|
| ①使用しないと思う | ②たぶん使用しないと思う | ③どちらともいえない |
| ④たぶん使用すると思う | ⑤使用すると思う | ⑥絶対に使用すると思う |

2) 初めてのセックスをするとき、あなたはコンドームを自分で用意すると思いますか。

- | | | |
|-------------|--------------|------------|
| ①用意しないと思う | ②たぶん用意しないと思う | ③どちらともいえない |
| ④たぶん用意すると思う | ⑤用意すると思う | ⑥必ず用意すると思う |

3) 初めてのセックスをするとき、相手がコンドームを使おうとしなかったら、あなたご自身から、使用を提案しますか。

- | | | |
|-------------|--------------|------------|
| ①提案しないと思う | ②たぶん提案しないと思う | ③どちらともいえない |
| ④たぶん提案すると思う | ⑤提案すると思う | ⑥必ず提案すると思う |

4) 最近1年間のあなたのパートナー関係についてお知らせください。
あなたは、最近1年間につぎのような人がいましたか。

① 特定の相手（恋人、カノジョ、ステディなど）

- | | |
|-----------|------|
| ①いた | ②いない |
| ア. 現在いる | |
| イ. 現在はいない | |

問7 （全員お答え下さい）この調査に参加した感想、ご意見等がございましたら、下の空欄になんなりとお書きくださいませ。

これで、すべての質問が終了しました。 どうもお疲れさまです。
私どもの調査にお時間を割いていただき、心より感謝申し上げます。

この調査についての問い合わせ先：

NPO法人 ぶれいす東京 内 厚生労働省研究班 担当： 池上千寿子
電話：03-3361-8964 ファクス：03-3361-8835 e-mail：ptokyo@gol.com

厚生科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）
エイズに関する普及啓発における非政府組織（NGO）の活用に関する研究事業
主任研究者 池上 千寿子 ぶれいす東京
分担研究報告書
人気テレビドラマに描写されるジェンダーとセクシュアリティに関する研究
分担研究者 東 優子 ノートルダム清心女子大学助教授

研究要旨： メディアが若者の性行動に与える影響について検討すべく、人気テレビドラマ11本を材料として採取し、そこに描写されるジェンダーとセクシュアリティについて分析を行なった。その結果、性に関する情報・行為の描写頻度に注目した場合、性に関連する描写（会話を含む）頻度を100%とした場合、セックスについての会話19%、セックス行為9%、キス行為9%、抱擁10%、身体接触8%、妊娠・中絶・出産に関する会話と行為14%であったのに対して、コンドームや避妊手段の情報2%、HIV/AIDSやSTDsに関する会話1%と、性の健康管理・保健行動に関する描写が極端に少ないことが明らかになった。また、現代劇においては、男女ともに性行動に対して積極的な存在として描写される傾向がみられるが、実際の性に関する行為を主導するのは依然として男性が多く、言語的コミュニケーションが極端に乏しいことも明らかになった。保健行動が阻害されやすい背景的要因として、①言語的コミュニケーションに関するロールモデルの欠如、②他者依存的「結果オーライ」の展開、③ロマンチックラブ至上主義における「愛のためなら命も捨てる」的態度、について議論する。本研究は中間報告であり、最終的な結果を踏まえ、今後、若者の保健行動を促進する映像モデルの試験的開発に取り組んでいきたい。

A. 研究目的

映像が描き出す世界は、時代や社会の直接的・間接的反映であると同時に、行動モデルや判断基準としての影響力をもつ。こうした問題意識を背景に、60～70年代の男女平等を促進する世界的な動きの中で、マスメディアが描く女性像の問題点を明らかにする実証的研究が世界中で積み重ねられてきた。あるいは、暴力的なシーンや過剰な性表現を含むテレビ番組から青少年を保護するためのさまざまな取り組みが積み重ねられており、その中には番組の格付けを伴ったVチップ制度など、放送界の内外で賛否両論が激しくたかかわされているものもある。

特に保健行動との関連という点では、未成年の喫煙行動への影響を考慮し、たばこの広告規制がすでに多くの国で行なわれていることは周知の通りである。最近の調査でも、映画やドラマに登場する商品名や俳優の喫煙行動が若者の喫煙行動の動機付けに繋がることへの懸念から、映像を規制する必要性が議論されている（Sargent et al., 2001; 坂口, 2001）。しかし逆に、こうしたメディアの及ぼす影響力を男女平等意識や家族計画、あるいはHIV/AIDS予防などの保健行動促進に利用しようとする試みも行なわれている。

NGOの一つであるPopulation Communications International (PCI) では、映像ではないが、ラジオでのソープオペラ（ドラマ）を制作し、それを使った様々なキャンペーンを各国で展開し、その成果について報告を行なっている。例えば、ジンバブエでは、男性の家族計画を促進するラジオドラマ放送したところ、避妊手段の実践が4%、コンドームの使用が5%上昇し、

ドラマを聴いた男性のコンドーム使用率が62%になったのに対して、ドラマを聴かなかった男性では51%であったという（Piotrow et al., 1992）。同様に、タンザニアでも男性聴者においてコンドーム使用率の上昇がみられたと報告されている（Vaughan et al., 2000）。

メディアが性行動に及ぼす影響という点では、国内で実施された若者を対象とする性行動調査において、性に関わる意識や行動に与える影響・情報源として「友人」に次いで「テレビ・ラジオ」などのメディアが多く挙げられている（日本性教育協会, 1999; 東京都幼稚園・小・中・高・心障性教育研究会, 1999）。そして、若者におけるテレビ専有率の上昇と共に、その影響が増大傾向にあるとこれらの報告書は指摘する。

また日本のマスメディアについては、男女の性役割分業を固定的に描き出す構造、既存の価値観を強化する内容が指摘されてきた。特にテレビドラマについては、描かれる内容がリアルでないことよりも、内容が多様でないこと（＝ステレオタイプ化された性役割の描かれ方）が問題であるとして指摘されており、こうしたドラマを視聴する女性たちは、単なる娯楽ではなく、生き方の参考にする傾向がみられるという（村松, 1998a; 1998b）。

そこで本研究では、国内で制作されたテレビドラマの中から、特に若者をターゲットとして高い視聴率を得たドラマを材料に、そこに描かれるセクシュアリティとジェンダーを分析し、若者の性の保健行動に与える影響を検討する。

B. 研究・調査方法

材料：過去5年間（1997～2001）に放送された若者層をターゲットにする現代劇（一般劇あるいはコメディに分類される54分×11～12話の連続ドラマ）の内、「恋愛」「若者」「性」がテーマに含まれるものについて、

- 1) 視聴率
- 2) 話題性（各賞の受賞、若者の性が重要なテーマになっているものなど）
- 3) 「性や恋愛を描いたドラマ」に関する私立女子大学生80名のアンケート調査
- 4) 入手可能性（ビデオ化されているもの）

以上を基準として考慮し、各年3本（計15本）の番組を採取した。

材料として使用したドラマの最高視聴率（ビデオ・リサーチ社調べ）は右表に示す通りである。今回採取したドラマの視聴率（ビデオリサーチ社の世帯視聴率データ・関東地区）の中には、30%代もみられるが、これは関東地域だけで430万世帯、全国ネットに換算すると1300万世帯が視聴していることを意味する。

方法：各ドラマについて独立した2人が視聴しながら、「ジェンダー」と「セクシュアリティ」に関する場面とその内容について、主としてプリコード方式のコーディング用紙に記録した。

- 1) 登場人物の属性（台詞、役名のある者に限る）
- 2) 性行動（身体接触、抱擁、キス、セックス等）の頻度と放送時間
- 3) 性行動の相手との関係性
- 4) 性行動における人物の主体性
- 5) 性の健康管理に関する行動（性感染予防、避妊など）性行動によって引き起こされた結果
- 7) その他、ジェンダーとセクシュアリティに関する内容

集計方法：2つのコーディング結果を以下の手続きにより、1つにまとめた。

1) プリコード項目：2者の一致率は、いちばん低い項目（性行動の種類）でも93%と、そのレベルは高い。不一致をみた項目については、分担研究者の判断を採用。

2) 性行動の頻度と放送時間：放送時間（秒単位）は、2者間の平均を採用。

3) 自由記述項目：2者の一致・不一致に関係なく、記録された内容を参照の上、分類。

C. 研究結果（中間報告）

材料として採取した15本のドラマの内、データ収集の完了している11本のドラマを分析した結果に

タイトル	放送年	最高視聴率
------	-----	-------

ひとつ屋根の下2（フジ） 脚本・野島伸司	1997	34.1
ラブ・ジェネレーション（フジ） 脚本・浅野妙子、尾崎将也	1997	32.5
バージンロード（フジ）	1997	28.3
GTO（フジ） 原作・藤沢とおる	1998	35.7
ショムニ（フジ） 原作・安田弘之	1998	28.5
紳様もう一度だけ（フジ） 脚本・浅野妙子	1998	28.3
魔女の条件（TBS） 脚本・遊川和彦	1999	29.5
ケイソク（TBS） 脚本・西荻弓絵/清水東	1999	17.1
彼女たちの時代（フジ） 脚本・岡田恵和	1999	12.8
ビューティフル・ライフ（TBS） 原作・北川悦吏子	2000	41.3
やまとなでしこ（フジ） 脚本・中園ミホ	2000	39.2
お見合い結婚（フジ） 脚本・吉田紀子	2000	20.4
恋がしたい 恋がしたい 恋がしたい（TBS） 脚本・遊川和彦	2001	21.9
できちゃった結婚（フジ） 脚本・吉田紀子	2001	21.8
ストロベリー・オン・ザ・ショートケーキ（TBS） 脚本・野島伸司	2001	18.4

ついでのみ、以下に報告する。

1) 性に関する描写（会話を含む）の出現頻度

11本のドラマに登場した性に関する描写（会話を含む）の頻度をカウントし、全体に占める各カテゴリーの割合を算出した。

その結果、セックスについての話題や行為（28%）やキス行為（16%）、抱擁やその他の身体接触行為（18%）の描写頻度に次いで、妊娠・中絶・出産についての会話や描写（14%）の出現頻度が高いことが明らかになった。その一方で、「コンドームやその他避妊手段」の出現頻度は2%、「HIV/STD」は1%と最も低く、この数値は性風俗（7%）や性犯罪など（5%）に関する描写頻度を下回る数値となっていることが明らかになった（図1）。

2) 行為を主導したジェンダーの描写頻度

台詞あるいは役名のある男女（延べ人数：女性57名、男性52名）に注目し、性に関する具体的な行為が描写されたシーンにおいて、どちらかが行為を主導したかについて調べた結果を図2に示す。

図において明らかなように、性に関する具体的な行為においては、主に男性主導型であり、男性主導によるセックスの出現頻度29回の内、レイプを含む「明らかな強制」が9回を数える点は注目し値する。

唯一、ジェンダーの出現頻度が逆転している「抱擁」については、「抱きつく」という行為が「かわいらしさ」の表現として多用されていることを指摘することができる。

また、特に他の行為に比べ、セックスにおける「判別不能」が多くなっているのは、キスや身体接触に比べて、行為に至るまでのプロセスは詳細に描かれることなく、性行為の事実があったことを示す描写が多いことによる（例：ベッドに裸をシーツに包んで横たわっている二人）。

D. 考察

80年代末に「トレンド・ドラマ」という言葉が生まれ、バブルがはじけた直後の90年代には、特に恋愛をテーマにしたドラマが増えたといわれる（渡辺, 1998）。今日、狭義の「トレンド・ドラマ」は消滅したと言われるが、高視聴率を誇るドラマが、今日の「トレンド」をふんだんに盛り込み、また若者が求める「トレンド」を提供し続けていることに変わりはない。

人気ドラマには、「ノーパンしゃぶしゃぶ」、「ランジェリーパブ」、「キャバクラ」、「ホテル」、「アダルトビデオ」、「援助交際」、「ラブホテル」、「テレクラ・伝言ダイヤル」、「インターネット上のHサイト」、「チャット」、「ストーカー」、「ひきこもり」、「幼児虐待」など、性風俗に限られない実にさまざまな古くて新しい「トレンド」が登場する。

しかし、3Sの一つである「セックス」がテレビドラマの視聴率を高める重要な要素としてあり続ける中で、性情報は誤情報も含めてドラマの中に氾濫しているが、性の健康管理に有益な情報や保健行動を促すロールモデルの提示は皆無に等しい。

1987年に厚生省が「エイズ元年」を宣言し、10年後に『神様、もう一度だけ』が放送されたことに伴い、HIV抗体検査を受ける人が急増するといった現象も

図1 性に関する描写（会話を含む）の出現頻度

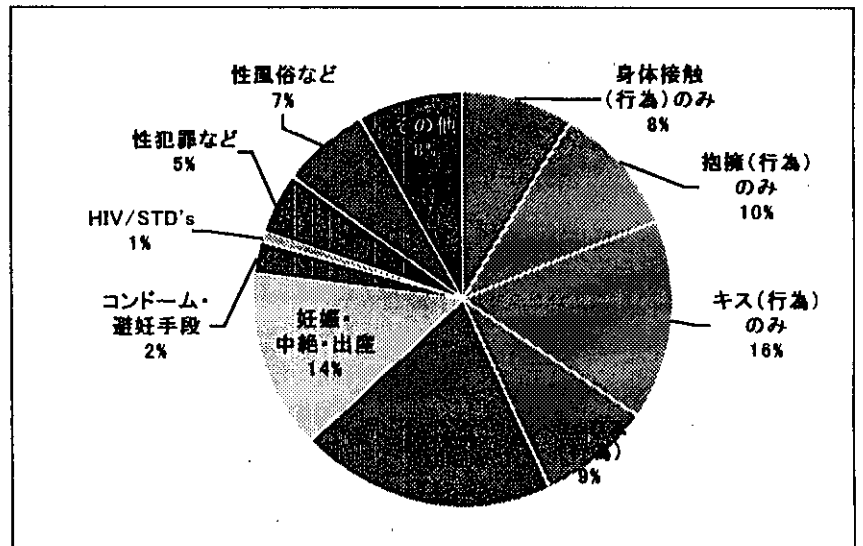
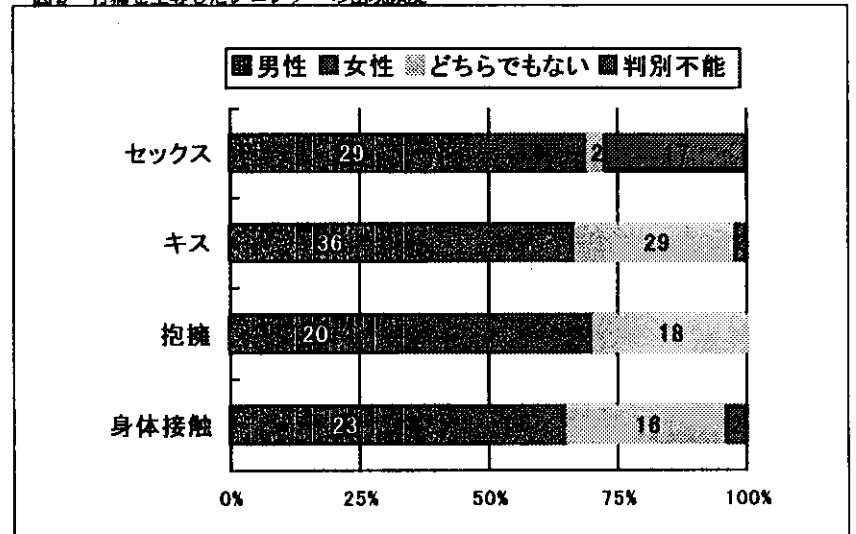


図2 行為を主導したジェンダーの出現頻度



報告されが、その後もドラマに登場するHIV/STDs関連情報は顕著な増加をみなかったようである。第3回放送番組向上委員会議事録(2001)でのジャーナリスト・川又良一氏が発言しているように、「世の中が豊かになると、自分の死を考えることはオールドファッションで、死を考えるよりもうまいものを食べたほうが良いということで、やがて来る死を真剣に考えることを放棄」(p.20)してしまい、現代の文学やドラマでは「死」の意味が描かれなくなっていることの影響であろうか。

以下に、保健行動を阻害する背景的要因について、考察してみたい。

①言語的コミュニケーションに関するロール・モデルの欠如

図2として示した結果として前述したように、男性主導で行なわれたセックスにはレイプを含む「明らかな強要」が含まれている。犯罪行為以外に注目した場

合でも、「時に男として強引さも必要」(『お見合い結婚』)という台詞に象徴される旧態依然とした男性性役割観とそれに基づく性行動に関する描写は、随所に散見される。また、そうした男性の行動を許容する女性の描写も少なくない。

突然キスをされて、「男の人っていつもそうやって謝るのね」(『やまとなでしこ』)と言ったフライトアテンダント、ソファに押し倒された女性編集者(『恋がしたい×3』)、畳に押し倒された元婚約者の女友達(『魔女の条件』)など、男性のそうした態度や行為に対する彼女たちの本音は明確には描写されていない。彼女たちの自己表現の欠如や沈黙は、結局、それを許容していた印象をさえ与えるものになる。

さらに女性たちは押し倒されるばかりではない。『恋がしたい×3』では、母親が「そんなに好きならね、押し倒しちゃえばいいの、あたしみたいに」(『恋がしたい×3』)と娘に指南する場面も登場する。ちなみに、この娘(蜜柑)は、実際に罪の意識に駆られながら男性の自宅に不法侵入を繰り返すようになり、挙句、泥酔状態で男性にカラむという醜態(=無邪気な可愛いらしさゆえ?)を演じるのである。

今回の調査対象となったドラマに登場する女性たちの多くは、表面的だけにせよ、性に対して積極的かつ主体的行為者として描かれることも少なくない。仕事でポジションを得るためにセックスをするキャリアウーマン(『ビューティフルライフ』)、「セックスから始まる恋愛はある」と男性を誘う同僚の女性(『ラブ・ジェネレーション』)、教え子を誘惑する女性家庭教師(『魔女の条件』、『ストロベリー・オン・ザ・ショートケーキ』)、ホテルに男性を誘い出し、「抱いて」と懇願する元恋人(『ビューティフルライフ』)、初めてのセックスを果すべく、自分からラブホテルに誘う女性(『できちゃった結婚』)など、様々である。

しかしながら、彼女らがセックスをする、ということについて積極性であっても、セックスという行為において何を求めているのか、どこまで主体的に関わるのかについては曖昧である。こうしたドラマにおいては、男女が「セックスをした」という事実が明確な場合であっても、行為に至るまでの言語的な交渉場面といったものが登場することはない。

こうしたドラマは、現代の恋愛においてセックスがあたりまえのように行なわれていることを強く印象づけるものになっているが、そこにコンドームの使用があったのか、双方がどういったセックスを望んでいたのか、途中で躊躇するようなことはなかったのか、どういった言語表現が効果的なのかなどについて、視聴者は想像することさえできないであろう。ましてや保健行動のロールモデルを見出すことはできないのである。

逆に、コンドーム使用について言語的交渉の努力を否定するような描写はある。HIV感染者の女性が登場するドラマ『神様、もう一度だけ』において、「(コンドームを)もってないよ」「ダメだよ、うつしちゃうよ」と性行為に躊躇する女性の発言に対して、男性の「すべてを受けとめてやる」が究極の愛情表現として描かれている例は、皮肉でさえある。

②他者依存的「結果オーライ」の展開

大胆なストーリー展開には「酒の力を借りてでも」というわけでもないのだろうが、登場人物が無邪気に酔いつぶれる描写がみられることについても、保健行動に与える負の影響として指摘しておきたい。

女性の例としては、片思いを告白することさえできない相手の男性宅に泥酔状態で押しかけ、そこで一夜を過ごす初心な蜜柑(『恋がしたい×3』)、酔っ払って前後不覚になり、心密かに思いを寄せる男性に自宅ベッドまで送ってもらう桜子(『やまとなでしこ』)、はじめてのコンパで酔いつぶれ、知らない間にラブホテルに連れ込まれていた純(『ケイゾク』)などがある。男性の例としては、酔いつぶれて気がついた時にはラブホテルで、相手の女性とセックスしてしまったと勘違いする(させられる)欧介(『やまとなでしこ』)が挙げられよう。

いずれも「酒の上での失敗談」としてコミカルに描かれ、幸いにも相手がそういった状況を利用しない他者依存的「結果オーライ」の結末が用意されているのだが、飲酒行動に伴う現実的リスクが、ドラマの世界では麻薬など他の薬物使用と比べて、過小評価され過ぎていたのではないだろうか。

③愛のためなら命も捨てる

今回の調査では、不治の病に罹った女性が主人公である『ビューティフルライフ』や、HIV感染者の女性が主人公である『神様、もう一度だけ』のように、「死」を意識せざるをえない疾患と共に生きる女性が主人公であるドラマが含まれていたこともあってか、「死」が恋愛至上主義ドラマにおける「究極の愛」を描く効果的な小道具として使われていた印象を強く受けた。

『恋がしたい×3』では、あくまでも恋に臆病で、片思いの相手に告白することさえできない娘を心配する母が、末期ガンと闘う病床で、不倫相手と「いっぱい愛し合った」末にシングルマザーになった自らの過去について語るのだが、「死ぬのなんて恐くない。怖いのは何もないことのほう…」という台詞は、象徴的であると言えよう。

『神様、もう一度だけ』では、HIV感染者の女性が制止しようとしたにもかかわらず、コンドームをつけずにセックスをした結果、計画外の妊娠・出産を経て、この女性は花嫁姿の教会で神に召される。あるいは、

『魔女の条件』では、教え子とのたった1回のセックスで女性主人公は妊娠をし、周囲の反対を押し切って出産を決意するものの、切迫流産の結果、昏睡状態に陥る。恋愛至上主義においては、真実の愛を見出すこと以上に大切なテーマは見出せないということなのだろうか。

一夏の経験 (=1回のセックス) で相手の女性を妊娠させてしまった男性の言い訳は、「ムードに酔ったかもしれないけど、あの瞬間は本気だった」というもので、この男性は、紆余曲折を経て、「男としての責任」を果すことになる(『できちゃった結婚』)。無防備な行動に対する責任を取ることを通じて成長する主人公の姿も感動を与えるだろうが、望まない結果を回避することで責任を果すロールモデルの提示を恰好よく見せるドラマが増えていくことを期待したい。

最後に、今回の分析対象となったドラマ11本の内、例外的に「愛もコンドームもあるセックス」が描かれたドラマとして、『GTO』を挙げておきたい。学園コメディに分類されるこのドラマでは、男性が愛の告白の代わりとして「祝・初体験」と書かれたコンドーム大切に持ちつけ、ついに告白の時を迎えるのである。コンドームを素直に受け取る女性の姿も新鮮であった。

E. 今後の展開

以上述べたように、今回の調査対象となったドラマ11本には性に関する描写・情報が多く盛り込まれていたが、コンドームやその他の避妊手段に関する情報は乏しく、エイズ/性感染症については皆無に等しい。

上記で指摘した「愛>命」のロマンチック・ラブ至上主義は、ドラマの世界に限られたことではなく、エイズ予防キャンペーンにおける「不特定多数とのセックスは危険」に対して「特定の愛情ある相手とのセックス」の消極的奨励という形でも反映されていたと指摘することができる。

現在、メディアを通じて若者が曝されている情報の偏りは、性行動と保健行動のギャップを固定化するものであり、それを打破するためにもロマンチック・ラブと保健行動が競合しない、コンドーム使用の肯定的イメージを伝える映像モデルの試験的開発が必要とされよう。

文献

- 坂口早苗「テレビドラマにおける喫煙関連シーンの検討(II)」第60回日本公衆衛生学会総会・一般演題、2001。
第3回放送番組向上委員会議事録「放送文化基金賞審査から見たドラマの変遷」放送番組向上協議会月報 2001; 6月号。

東京都幼稚園・小・中・高・心障性教育研究会編『1999年調査、児童・性と性の性、東京都幼・小・中・高・心障学級・養護学校の性意識・性行動に関する調査研究 平成11年』(学校図書, 1999)

日本性教育協会『青少年の性行動、わが国の中学、高校、大学生に関する第5回調査報告』(小学館, 2000)

村松泰子「テレビドラマのジェンダー表現と女性視聴者—70年代以降のドラマ視聴の変容」東大社会情報研究所『カルチュラル・スタディーズとの対話』(新曜社, 1998a)

村松泰子「メディアがつくるジェンダー—日独の男女・家族像を読みとく—」(新曜社, 1998b)

渡辺久哲「高視聴率連続ドラマから見える時代の顔」新・調査情報 *passingtime* 1998/1-2 no.009

Piotrow, PT, Kincaid, DL, Hindin, MJ, Lettenmaier, CL, Kuseka, I, Silberman, T, Zinanga, A, Chikara, F, Adamchak, DJ., Mbizvo, MT, Lynn, W, Kumah, OM, & Kim, YM. Changing Mens Attitudes and Behavior – the Zimbabwe Male Motivation Project. *Studies in Family Planning* 1992; 23 (6), 365-375.

Sargent, JD., Tickle, JJ., Beach, ML, Dalton, MA, Ahrons, MB, Heatherton, TF. Brand appearances in contemporary cinema films and contribution to global marketing of cigarettes. *The Lancet* 2001; 357: 29-32.

Vaughan, PW, Rogers, EM, Singhal, A, & Swalehe, RM. Entertainment-Education and HIV/AIDS Prevention: A Field Experiment in Tanzania. *The Journal of Health Communication* 2000; 5(1): 81-100.

入力シート

調査者名		調査日	
ドラマ名		第 話 () 分	

シーン	種類	A. 行為の描写	B. 会話	C. 静止画像
	秒数	～	～	
A	Aの種類	①セックス ②キス ③抱擁 ④それ以外の身体接触		
	Aのイニシアチブ	①男性 ②女性 ③どちらからともなく ④不明		
	Aについての同意	① 暴力的な強要（性犯罪を含める） ② 相互同意が不明瞭で、結果、相手が不快感・嫌悪感を示す ③ 相互同意は不明瞭だが、結果、相手が不快感・嫌悪感を示さない ④ 相互同意あり ⑤ 判別不能		
	BCの種類	①セックス ②キス ③抱擁 ④それ以外の身体接触 ⑤性風俗 () ⑥コンドーム・避妊手段 ⑦HIV/AIDS&その他性感染症 ⑧妊娠 ⑨中絶 ⑩出産 ⑪性犯罪 () ⑫その他 ()		
A	男性	名前 () 歳 ①高校生 ②専門学校生 ③大学生 ④大学院生 ⑤常勤職 ④非常勤職・派遣職員 ⑥アルバイト・パートタイマー ⑥無職	両者の関係	① 恋人同士 ② 婚姻関係 ③ 不倫関係（両方既婚） ④ 不倫関係（女性のみ既婚） ⑤ 不倫関係（男性のみ既婚） ⑥ 不倫関係（その他不明） ⑦ 近親関係 ⑧ 知人、友人 ⑨ 未知の間柄（さほど親しくない） ⑩ 金銭の授受を伴う関係 ⑪ 不明
	女性	名前 () 歳 ①高校生 ②専門学校生 ③大学生 ④大学院生 ⑤常勤職 ④非常勤職・派遣職員 ⑥アルバイト・パートタイマー ⑥無職		

調査者の視点 (コメント)	※ 上記の具体的状況と注目すべき点について、以下に説明してください。台詞は役名を明記し、一言一句、正確に記述してください。
------------------	---

研究成果の刊行に関する一覧表

- 1 IKEGAMI et.al, Determinant factors of young women's sexual health behavior
15th World Congress of Sexology (June, 2001 Paris) 56
- 2 SUH et. al, Psycho-social factors influencing condom use among female college
students in Japan 59
4th International Conference of Health Behavioral Science (August, 2001 kobe)
- 3 HIGASHI et. al, Identifying HIV/STDS prevention strategies for young Japanese
females 63
6th International Congress on AIDS in Asia and Pacific (October, 2001 Melbourne)
- 4 IKEGAMI Chizuko, HIV/AIDS prevention for youth:gender specific approach
世界エイズデー記念国際シンポジウム (2001, 11月、神戸) 68
- 5 池上千寿子、エイズ教育推進のための新たな“しかけ” 70
日本性教育協会月報 11月号 (2001, 11月)
- 6 池上他、エイズに関する普及啓発における非政府組織 (NGO) の活用に関
する研究 74
ぷれいす東京活動報告書 2000 (2001, 5月)
- 7 エイズに関する普及啓発における非政府組織(NGO)の活用に関する研究
エイズリポート 51号 (2001, 6月) 77

20010749

以降は雑誌/図書等に掲載された論文となりますので
「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。